

関東支部 第3回提案競技

「美しくまちをつくる、むらをつくる」

支部会員の部 / 小中学生の部

主催 日本建築学会関東支部

共催 群馬県太田市、太田市教育委員会、日本建築学会関東支部群馬支所

後援 群馬建築士会、日本建築家協会関東甲信越支部、上毛新聞社

「美しい」「美しく」とは？ 「人に対して魅力的である」というと、人を惹きつける、行ってみたいくなる、そこに居たくなる、住みたいくなるような所。単に何となくきれいである、というのではなく、きれいであって、健康で、活気がある、または気持ちが和む、落ち着くなど、様々な要素をもたなければならない。」古来、日本人は美しい山河、海浜、庭園、神社仏閣、農村風景等の景観を愛し、それを大事にする心を持っていた。しかし、近年、美観を考慮せずに機能、経済性の追求に偏った開発が行われ、生活の利便性が向上する反面、多くの地域でかつての美しい環境が失われ、人々の心に荒廃の影をもたらしている。美しい環境・景観は与えられるものではない。市民・住民の不断の努力によってつくり上げられたものである。「美しいまちをつくる、むらをつくる」というテーマは、市民の側に主体的に美しいまち・むらをつくらうという意識をもってもらいたいという意味を込めている。市民にそのような意識をもってもらうためには、デザインによってまちやむらはどのように美しくつくられるかが示されなければならない。これを示し得るのは、建築・都市デザイナー、建築家、建築士などデザインの専門家、およびそれを目指す学生諸君であろう。さらにこのような意識を子供の時から育てるために、子供たちにもこのイベントに参加してもらい、美しいまちづくりを考える楽しさを味わってもらいたい。本提案競技は、以上の主旨のように、デザインの持つ力、重要性を社会に対して示す場を設けようとするもので、建築・都市デザイナー、建築家、建築士、学生を対象にした美しいまちづくりむらづくりのデザインコンペティションおよび小中学生を対象にした美しいまちなみ絵画コンクールを内容とする。関東支部の継続事業の第3回目である。ふるって参加をお願いしたい。

応募規定 支部会員の部

1. 課題 「美しくまちをつくる、むらをつくる」

魅力的なまちづくり、むらづくりの計画案を提案してください。必ずしも提案の実現性にはこだわりませんが、今後の太田市のまちづくりのヒントになるような、説得力ある提案を望みます。

2. 対象地の概要とテーマ

(1) 群馬県太田市の概要

太田市は、群馬県東部、関東平野の北西端部に位置し、市の南側は利根川、北側は渡良瀬川に臨み、中央部には金山城跡を頂く金山(標高235.8m)を擁する、人口およそ15万人の地方中心都市です。都市としての発展は、江戸時代に日光例幣師街道の宿場町となってから特に顕著となりますが、人の居住地としての歴史は古く、旧石器時代までさかのぼることが出来ます。市の全域にわたって多くの遺構が分布し、東日本最大規模の前方後円墳として知られる天神山古墳を中心とした無数の古墳群も存在します。下って、戦前は飛行機製造を中心とした軍需産業都市として、戦後は自動車産業を中心とした北関東屈指の工業都市として発展を遂げ、近年では「品格のある生活文化都市」をスローガンにまちづくりを推進し、現在に至ります。現代の太田市の大きな特徴の一つとしては、地域特性と地場産業が拡大させた、モータリゼーションが挙げられます。太田市の世帯別家用乗用車保有台数はおよそ1.7台と言われ、これは全国都市別の第4位にランクさ

れるレベルとなっています。このような過剰なまでのモータリゼーションは、様々な角度から都市の形成に影響を与えていると考えられ、特に歩行環境における量的・質的低下を招いている現状は、今後の太田市のまちづくりにおいて解決が待たれる重要課題の一つとなっています。

太田市のインターネットHP

<http://www.city.ota.gunma.jp/>

(2) テーマ「都市の“Walkability”を高めよ 車社会における歩車共存の新しいかたち

太田市内に各自が自由に計画対象地域・地区を設定し、多くの市民が自然と歩いてみたいくなるような、魅力ある歩行環境を創出し、太田市の“Walkability”を向上させるような提案をしてください。なお、テーマは必ずしも自動車を排除するものではなく、あくまでも優れた「歩車共存のかたち」を目指すことが前提となっていることに留意して下さい。また、「ここで言う歩行環境」には、自転車などの人力による交通手段で移動する場合も含めて構いません。計画規模の大きさは自由です。提案は、ソフト的なものでもハード的なものでも、或いはその両方でも構いません。「歩きたくなるまち = “Walkability”の高いまち」とは、「歩けるまち」とも、「歩かされるまち」とも違うと言えるでしょう。車社会の便利さに慣れきった市民を「歩いてみたい」と思わせる、大きな魅力と必然性のデザインが込められた提案を期待します。

3. 要求図面等

- 1) A1判用紙(594×841mm)1枚以内に提案をまとめてください。
- 2) 表現方法は自由としますが、パネル、ボードは使用しないでください。
- 3) 必須の項目や図面は、特には決めておりません。資料等から判断していただき、各応募者が自由に課題を設定し提案してください。

なお、コペの質疑応答は特に行いません。

4. 応募資格・応募点数

- 1) 応募資格 応募の代表者は、本会関東支部所属の個人会員もしくは準会員(作品提出時までの入会手続き者を含む)であることとし(共同制作者は会員外でも可)、また、代表者・共同制作者のいずれもが、当提案競技審査員の直接の関係者であってはならない。
- 2) 応募点数 個人での応募、または同一メンバーで構成されるグループで応募する場合は、1点のみとする。

5. 応募登録

応募登録申込書に、必要事項(氏名、会員番号、年齢、学校/勤務先、連絡先所在地、電話番号)を記入のうえ2001年12月10日(月)までに日本建築学会関東支部事務局まで郵送してください(消印有効)。なお、登録料(郵便為替)と資料返送用封筒(A4判封筒に登録者の宛先を記入し、390円分の切手を貼ったもの)を同封してください。登録者には、太田市に関する資料を送付します。登録料・応募1点につき2,000円(郵便為替を郵便局で購入し、受取人に日本建築学会関東支部と記入して同封のこと)

6. 提出方法

日本建築学会関東支部事務局に、郵送または宅配便により、2002年2月4日(月)までに送付してください(消印有効。審査会までに到着したものは受け付けます)。直接持参は受け取りません。なお、応募登録用紙に必要な事項を書き込み、封筒に密封して作品の裏にはがせるように張りつけてください。作品中には、作成者が推測出来るマーク等を表示しないでください。

7. 全体スケジュール

応募登録受付 2001年11月19日(月)～12月14日(金)

地元説明会 2001年11月25日(日) 午後1時～ 太田市役所東玄関前広場集合。太田市職員が現地を案内して説明します。(アクセス:東京から電車の場合、東武伊勢崎線特急りょうもう9号 浅草 10:40 発～太田 11:59 着 のご利用が便利です)

応募作品受付 2002年1月21日(月)～2月4日(月)

入賞発表 2002年2月下旬頃 入賞者には通知します。また「建築雑誌」誌上とインターネット上で結果を報告します。

入賞作品展示会 2002年3月8日(金)～3月10日(日) 太田市社会教育総合センター展示ホール(太田市熊野町23-19 TEL.0276-22-3442)

作品発表会・表彰式 2002年3月10日(日)13:00～ 太田市社会教育総合センター4階リクリエーション室
入賞者は参加してください。同時に都市デザイナーまたは都市計画専門家によるまちづくりに関する市民向け講演会を実施する予定です。

8. 審査委員会

審査委員長

小場瀬 令二(筑波大学教授)

審査員

清水 聖義(太田市長)

小嶋 一浩(東京理科大学助教授/C+A)

星 和彦(前橋工科大学助教授)

蜂巢 進(建築学会群馬支所長)

9. 賞

最優秀賞 1点(賞状、副賞30万円)

優秀賞 3点(賞状、副賞5万円)

太田市長賞 数点(賞状及び記念品)

10. 著作権

応募作品に関する著作権は各応募者に帰属しますが、主催者は本設計競技の主旨に照らして、応募作品の公表等をする権利を使用することができるものとします。

11. 作品の返却

返却を希望する方は、支部事務局までお越しください。

応募規定 小中学生の部

1. 課題 私たちの太田市 こんなまちにすみたいな『絵画コンクール』

将来あなたが、「すみたい」「こんなまちになってほしい」という理想のまち太田市を自由に描いてください。

2. 提出作品

四つ切り画用紙(380mm×540mm、縦描き、横描きいずれも可)1枚。画材として、油絵、水彩画、パステル画、クレヨン画、色鉛筆画などのほか、技法としてコラージュや半立体的表現(厚さ10mm程度まで)も可とします。ただし、壁面掲示に耐えられるもの。

3. 応募資格

太田市内の小学校、中学校に通う児童・生徒とします。

4. 応募登録

登録の必要はありません。

5. 作品の提出方法

提出場所 太田市教育委員会 作品の裏に学校名・学年・氏名を記入してください。

6. 全体スケジュール

応募作品受付 2002年1月下旬頃(詳しくは各学校に通知します)

入賞者の発表 2002年2月中旬頃応募者の学校へ通知します。

入賞作品展示 2002年3月8日(金)～3月10日(日) 太田市社会教育総合センター展示ホール(太田市熊野町23-19 TEL.0276-22-3442)

入賞者の表彰 2002年3月10日(日)13:00～ 太田市社会教育総合センター4階リクリエーション室
入賞者は参加してください。同時に都市デザイナーまたは都市計画専門家による、まちづくりに関する市民向け講演会を実施する予定です。

7. 審査委員会

審査委員長

森 竹巳(筑波大学助教授)

審査委員

未定(市内小・中学校美術教諭2名程度)

8. 賞

優秀賞 5点(賞状、1万円の太田市金券)

太田市長賞 10点(賞状、5千円の太田市金券)

太田市教育長賞 10点(賞状、3千円の太田市金券)

太田市教育委員賞 10点(賞状、3千円の太田市金券)

入選 20点(賞状、1千円の太田市金券)

9. 著作権

応募作品に関する著作権は各応募者に帰属しますが、主催者は本設計競技の主旨に照らして、応募作品の公表等をする権利を使用することができるものとします。

10. 作品の返却

支部総会終了後に学校を通して返却します。

問合せ・応募登録・作品郵送先

(社)日本建築学会関東支部 野口・山崎 〒108-8414 東京都港区芝5-26-20 TEL 03-3456-2050 FAX 03-3456-2058
<http://news-sv.aij.or.jp/kanto/> E-mail noguchi@aij.or.jp